



物流ニッポン

2018年(平成30年)
11 | 1
(木曜日)

発行/月曜日・木曜日 第4133号
購読料/6ヵ月30,600円(税別) ※送料別

©物流ニッポン新聞社 2018 (1989年4月1日第3種郵便物認可)

URL=http://www.logistics.co.jp

社名: 物流ニッポン新聞社

編集長: 山田 晋

東京本社 東京都千代田区平河町1-7-20 電話: 03-3221-2345
大阪本社 大阪市天王寺区堂ヶ庄1-3-24 電話: 06-6779-5655

全国8支局自社ネットワークの物流総合専門紙

札幌 011-756-5006 名古屋 052-251-8301
仙台 022-741-1723 大阪 06-6779-5655
東京 03-3221-2345 広島 082-836-6868
新潟 025-288-5695 福岡 092-474-5858

JAILPA

「近未来の物流施設」学ぶ

日本物流不動産評価機構(JAILPA)の推進協

議会は10月19日、日本政策投資銀行(DBJ)後援の下、「物流不動産とテクノロジー」をテーマにセミナーを開催した。行政や金融、物流など多くの分野から講師を招き、近未来の物流施設について学んだ。

第1部は、国土交通省の多田浩人大臣官房参事官(物流産業担当)とDBJ企業金融第3部グローバルロジスティクス室の須釜洋介室長が登壇。「物流総合効率化法」「物流技術革新と変革する物流不動産」に

ついて、それぞれ話した。第2部では、イーソーコの大谷巖一会長が「物流不動産の現状と見通し」と題して講話。

続けて、シーオスの松島聡社長が「AI(人工知能)とロボットを活用したロジスティクスのデジタル・イノベーション」を、日建設先端系施設デザインラボの佐竹一朗・デザインパートナーは「インダストリー4.0がもたらす変化の兆しと新たな産業建築」をテーマに、最新技術による効率的な物流施設や産業構造の変化などについて解説した。

(井内亨)